

MLB 中継動画を用いた英語教材の可能性

トップスポーツマネジメントコース

5020A301 - 6 渥美 修一郎

研究指導教員：平田 竹男 教授

1. 背景

1) 日本における英語学習の重要性の高まりと新たな学習ニーズ

2020年4月より開始された小学校の英語必修化により公立小学校の中学年は週35時間、高学年は70時間の英語学習時間が設けられるようになった。同時期に大学入試制度改革も実施され、英語は読む・聞くの2技能だけではなく話す・書く技能も加えた4技能が求められるようになった。インバウンド人口も2009年から10年間で5倍に増えるなど、英語教育の必要性や関心が全世代で増加し多くの英語学習教材が提供されている。これを受けて語学ビジネス市場も幼児からビジネスマンまで幅広い層における需要があり、オンライン英会話は2019年に前年度比125%を超えるなど英語学習に対する関心が増加している。

2) 野球人気と MLB を用いた英語教材の可能性

近年楽しく英語を学ぶ教材として海外ドラマやキャラクターを用いた教材が普及しつつあるが、スポーツを用いた教材はあまりない状況である。

日本の野球人気は高く、プロ野球は1996年以来25年間連続で最も人気のあるプロスポーツであり、小学生の人気スポーツ上位にいる。よって野球の本場 MLB 中継動画を教材とすれば、楽しい英語学習につながる可能性が高いと考えられる。

3) 先行研究

先行研究から MLB 中継動画が英語学習教材となる可能性に言及した論文はあるが、具体的な学習方法は検討されていない。またスポーツと英語を組み合わせた学習教材に関する研究は見当たらない。

2. 目的

本研究は、MLB 中継動画を用いた英語教材の可能性について明らかにすることを目的とする。

3. 研究方法

1) 想定される主な英語学習者のニーズを把握

少年野球チーム5チームから協力を得て、野球少年・保護者に対する質問紙を配布し野球少年(小中

学生)73名、保護者104名から回答を得た。質問項目は①英語学習に関する関心を問う内容、②MLB 英語野球教室(仮称)の参加への興味を問う内容、③MLB の視聴経験を問う内容を野球少年とその保護者に対して行った。また大学生25名に対して現在の英語レベルと、どのような方法で英語を学びたいのかの調査を実施した。

2) MLB 中継動画やハイライト動画の語彙調査

MLB 実況中継で用いられた単語・フレーズの調査を行った。2019年5月6日に行われたシアトルマリナーズ対ニューヨークヤンキースの試合中継動画2時間13分3秒の動画実況で語られた内容と MLB ハイライト動画6分44秒実況で語られた内容を全文書き起こし、単語及びフレーズの抽出を行った。更に抽出された頻出上位300単語を小学校3年生(英検5級レベル)、小学校6年生(英検4級レベル)、中学3年生(英検3級レベル)に分類を行った。

3) MLB 中継動画を用いた教材の実証

中高生20名・大学生12名、成人10名を対象に MLB 中継動画を用いた野球に特化した英語フレーズ聞き取りに関するクイズ形式調査を行った。方法は筆者が①の調査で、実況中継をテキスト化したものから野球に特化したフレーズを空欄にしたものを用意し、対象者が実際に MLB の実況中継を聞き、空欄の内容を書き込み、その正答率を確認した。

4. 結果

1) 英語学習者に対する MLB を用いた英語教材への関心(表1)

(1) 野球少年とその保護者の英語学習に関する関心

「英語を話せるようになりたいか。」という問いに野球少年の71%が「とても思う」、25%が「少し思う」と回答していた。

(2) MLB 英語野球教室(仮称)の参加意向

MLB 英語野球教室(仮称)に参加したいか、という問いには野球少年の52%が「とても思う」、36%が「少し思う」と回答していた。MLB 英語野球教室のプログラムの内容は「野球の技術と英語両方を学ぶ」

が76%と最も高かった。

表 1 野球少年と保護者の MLB 英語野球教室(仮称)等に対する関心

質問	英語を話せるようになりたいか(なってもらいたい)			
選択肢	とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない
野球少年(N=73)	71%	25%	3%	1%
保護者(N=104)	84%	15%	1%	0%

質問	MLB英語野球教室(仮称)に参加したいか(参加させたいか)			
選択肢	すごく思う	少し思う	あまり思わない	思わない
野球少年(N=73)	52%	36%	12%	0%
保護者(N=104)	48%	41%	10%	1%

質問	MLB英語野球教室(仮称)はどのような内容であれば参加させたいか		
選択肢	野球重点に学ぶ	野球と英語両方を学ぶ	英語を重点に学ぶ
保護者(N=93)	20%	77%	3%

2) MLB 実況中継やハイライト動画の語彙調査

(1) MLB 中継動画の頻出単語と難易度

MLB 公式戦 1 試合で使用されたすべての英単語数は 19,759 語であり、1,607 種類の単語が使われていた。そのうち頻出 300 語が動画内で使用された回数の合計は 16,822 回であり、全単語数の 85.1%であった。(表 2)

表 2 MLB の中継で用いられる単語(1 試合)

単語数	19,759
単語の種類数	1,607
頻出300語の使用数	16,822
頻出300語の割合	85.10%

(2) MLB 中継動画頻出 300 語の単語習得レベル

頻出上位 300 単語は小学校 3 年生(英検 5 級レベル)で 49.3%が習得でき、小学校 6 年生(英検 4 級レベル)が 71.1%、中学 3 年生(英検 3 級レベル)が 89.2%、高校 1 年生(英検準 2 級)が 95.6%であった。

表 3 MLB 中継頻出 300 語の単語習得レベル

小3レベル(英検5級)	49.3%
小6レベル(英検4級)	71.1%
中学レベル(英検3級)	89.2%
高1レベル(英検準2級)	95.6%

3) MLB 中継動画を用いた教材の実証

表 4 海外スポーツ動画は英語の学習に効果的か

質問	海外スポーツ動画は英語の学習に効果的だと思いますか			
選択肢	すごく思う	少し思う	あまり思わない	思わない
中高生(N=20) 1回目	5%	25%	40%	30%
中高生(N=20) 2回目	20%	35%	35%	10%

野球に特化したフレーズの聞き取りは TOEIC のスコアが高い人でも単語が連続する表現、L、R や TH の音等日本人の聞き取りが苦手な音が入るフレーズで正答率が低い結果となった。英語クイズ実施前後のアンケートで、海外スポーツ動画を英語の学

習に効果的だと考える人が実施前の 30%から実施後は 55%に増えた(表 4)。

5. 考察

1) MLB コンテンツを利用した英語学習教材ニーズ

野球少年及び保護者へのアンケート結果より、英語と野球の両方が学べる MLB 野球教室に強い関心を示していることが分かった。大学生もスポーツなど趣味と連動した英語学習教材に高い関心を示しており、MLB 中継動画や野球教室は英語学習方法として野球少年や野球愛好家にニーズがあると考えられる。

2) MLB 中継動画の英語教材としての汎用性

MLB 中継動画は英単語の 89%が中学生レベル(英検 3 級レベル)で構成されていることから英語初心者への英語学習教材として、また日本人が苦手とする発音やフレーズは英語上級者への英語学習教材としての利用が可能であることが考えられる。

3) MLB を用いた英語学習教材例

野球少年には和製英語を使わずに英語を使いながらプレーも楽しめる MLB 野球教室の開催や、MLB を楽しみながら英単語やフレーズを学べる MLB 英語クイズ単語帳の作成を行うことが効果的と考えられる。大学生や成人には英語フレーズ聞き取りテストや解説動画の配信により、実際に英会話で使える力を養うコンテンツが提供できる。

4) MLB 中継動画を英語教材とした MLB の普及

本調査を通じて、野球少年と保護者の 40%が MLB 中継を観ていないことが分かり、日本における MLB の普及に課題があることが分かり、MLB 中継動画等を用いた英語学習者を増やすことは、MLB に触れる多くの機会を提供し MLB ファンの拡大に寄与すると考えられる。

6. 結論

MLB 中継動画は中学レベルの語彙力で理解できる内容であることも明らかとなったことから、MLB 中継動画を利用した英語学習は英語の初心者にも扱いやすく、特に野球愛好家には自身の趣味や趣向と合わせた学習方法として高い効果と人気を得られる可能性を秘めている。英語学習と同時に MLB を楽しむことが出来る方法が広く知られれば、日本国内における MLB 普及にも一役を担うことが出来ると考えられる。

